

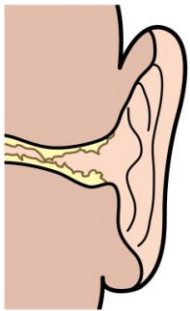


※表面を保護者の方向け、裏面を児童向けに作成しております。

気をつけたい、子供の耳の病気

3月3日は、「耳（33）の日」ともいわれています。そこで、今回は子供に多い耳の病気や異常について取り上げてみました。これを機に、お子様含め御家族の耳の様子を確認してみてください。

①耳垢栓塞（じこうせんそく）



耳垢がたまって外耳道を栓のようにふさいでしまった状態をいいます。完全に塞がってしまうと難聴を訴えるだけでなく、めまいや外耳道炎を起こす可能性もあります。

今年度の耳鼻科検診で、式小でも何人かの児童が「耳垢栓塞」と診断されました！



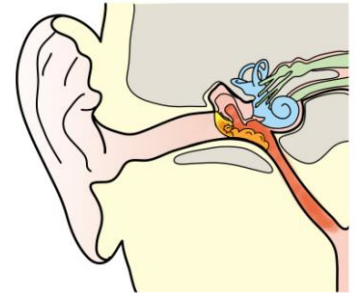
お子様の耳をのぞいてみて、耳が蓋のようなものでふさがれてしまっていないか御確認ください。

耳垢栓塞になった場合は御家庭では対応はできません。なるべく早く耳鼻科の受診をしてください。

②滲出性中耳炎（しんしゅつせいちゅうじえん）

鼓膜の奥に浸出液（体液）が溜まる病気。難聴や耳閉塞感（耳がふさがったような感じ）、自声強調（自分の声が耳に響く・こもる）などの症状が起こります。

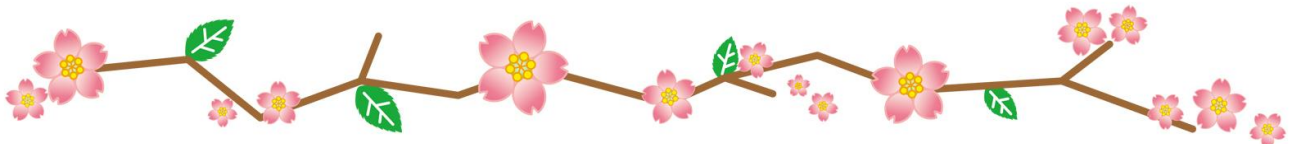
急性中耳炎とは異なり、強い痛みや発熱を伴わないことが特徴です。そのため、本人や保護者が気付かないことも少なくありません。「声かけに対する反応が今までと比べて鈍い」といったことがあれば受診をしてもよいかもしれません。



③突発性難聴（とっぱつせいなんちょう）



急に耳の聴こえが悪くなる病気です。通常は片耳ですが、まれに両耳同時に発症することがあります。原因は不明で、内耳循環障害説やウイルス感染説等があり、ストレス・寝不足が引き金になって発症することもあります。めまい・耳鳴り・耳閉塞感等を伴うことがあります。適切な早期治療と安静が重要です。



3月の保健・給食行事

6日（月） 歯垢染色・フッ化物洗口（1・5・6年）

7日（火） 歯垢染色・フッ化物洗口（2・3・4年）



3月の保健目標は、「**耳を大切にしよう**」と「**1年間の反省をしよう**」です。

3月3日は「ひなまつり」でもありますが、「みみの日」でもあります。

当たり前のように毎日お世話になっている自分の耳ですが、大切にできていますか？

こんな風に…



ごしごし強く耳そうじをしたり、

耳の近くで大きな音をきいたり、

していませんか？



耳を大切にできていないと、みなさんがとてもこまることになります。

みみ
耳は、



おと
音をきく



バランスをとる



おと ほうこう
音の方向がわかる

という役割があります。「バランスをとる」というのは、まっすぐ歩くためにも必要です。また、バランスがとれなくなると、気持ちわるくなったり、めまいがしたりもします。

優しくていねいに耳そうじをする。ヘッドフォンの音は小さくする。お友達の耳の近くで大きな声で話さない。ちょっとしたことを気をつけることで、自分やみんなの耳を大切にすることができます。

わかるかな？「**耳**」のことわざ

①～③とア～ウをつなげてね！

ねみみ みす
①寝耳に水



ア. 何を聞いてもすぐに忘れてしまうこと。

かべ みみ
②壁に耳あり



イ. かくしごとは、いつどこでだれが見たり聞いたりしているかわからないということ。

しょうじ め
障子に目あり

みぎ みみ ひだり みみ
③右の耳から左の耳



ウ. 突然のできごとで、びっくりすることのたとえ。